

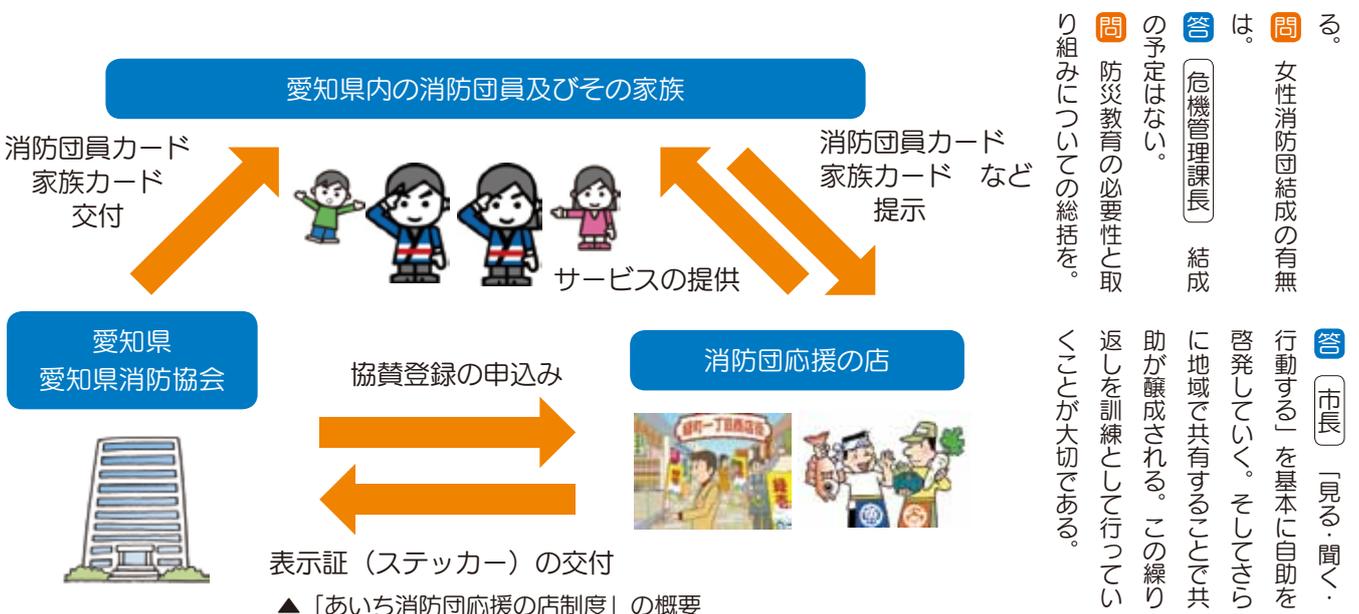


高橋 八重典 議員
大栄会

問 防災教育を今に！！

答 市民とともに積極的に取り組む

- 問** 防災教育の現状は。
答 危機管理課長 保育所、小中学校では地元地域や高校とも連携し、想定される災害別の行動訓練、避難所運営など実践的な訓練を行っている。今後も普及啓発に努める。
- 問** 29年度の対策は。
答 危機管理課長 自主防災会全体会を開催し、講話などを通じ活性化を図る。
- 問** 防災教育十四山モデルを広める取り組みは。
答 危機管理課長 好事例や先進的な取り組みは、情報として提供し活性化に役立てたい。
- 問** 防災教育の素材や中身について明確にする必要性は。
答 危機管理課長 どの年代も主体的に行動できるように知識・情報の共有を図り意識向上に努める。
- 問** 各部署間での情報共有・交換はなされているか。
答 危機管理課長 今後は部署間で連携を図っていく。
- 問** 統括部署の設置の考えは。
答 危機管理課長 現状は危機管理課で対応。
- 問** 地域防災の要、消防団の充実を。
答 活動への理解と周知に努める。
- 問** 消防団員不足の分析はなされているか。
答 危機管理課長 仕事との両立の難しさや地域活動に対する意識の低下。
- 問** 分析した上での対策は。
答 危機管理課長 イベントでのPRや、広報による募集など活動への理解に努める。
- 問** 「あいち消防団応援の店制度」の取り組みと今後の展開は。
答 危機管理課長 商工会経由で周知・加盟に努める。



問 女性消防団結成の有無は。
答 危機管理課長 結成の予定はない。

問 防災教育の必要性と取り組みについての総括を。
答 「市長」一見、聞く・行動する」を基本に自助を啓発していく。そしてさらに地域で共有することで互助が醸成される。この繰り返しを訓練として行っていくことが大切である。